

オーディオの基本操作.....84	交通情報を聞く.....93	本機で録音した音楽データを再生する... 108	SDメモリーカード・ USBメモリーを再生する..... 117
オーディオに切り換える.....84	ディスクを再生する.....94	本機で録音した音楽データを編集する... 109	SDメモリーカードを挿入する..... 117
オーディオの種類を選ぶ.....84	再生できるディスク.....94	お気に入りフォルダで管理する..... 109	SDメモリーカードを取り出す..... 117
オーディオの音声を出力したまま ナビゲーションに切り換える.....85	ディスクを挿入する.....94	編集するアルバム・曲を選ぶ..... 110	USBメモリーを本機と接続する..... 117
オーディオをOFFにする.....85	ディスクを取り出す.....94	アルバムの情報を編集する..... 110	音楽 (MP3/WMA/AAC) を再生する... 118
テレビを見る.....86	microSDメモリーカードの出し入れ...95	曲の情報を編集する..... 110	静止画を再生する..... 119
テレビ初期設定を行う.....86	BDMV・BD-REを再生する.....96	アルバムにジャケット写真を登録する... 112	動画を再生する..... 120
テレビの基本操作.....88	BDMV・BD-REの 設定を変える.....99	設定する..... 112	iPodを再生する..... 121
テレビの受信や信号の設定をする.....90	DVD-Video・DVD-VRを再生する..... 100	再生中のアルバム・曲にジャンルを 登録する..... 112	音質・音場を調整する (オーディオチューン)..... 124
視聴予約を確認・編集する.....90	DVD-Video・DVD-VRの 初期設定を変える..... 102	アルバム・曲を削除する..... 113	オーディオチューンのモードを選ぶ..... 124
ソフト情報を見る.....90	音楽CD (CD-DA) を再生する..... 103	SDメモリーカード内の録音状況を 確認する..... 113	FADE/BALANCEの 出力レベルを調整する..... 124
デバイスID表示.....90	MP3/WMAを再生する..... 104	録音した音楽データを初期化する..... 113	音響効果「音の匠」を設定する..... 125
テレビのシステム設定をする.....92	BLUETOOTH Audioを再生する..... 105	パソコンでGracenoteデータベースを 更新する (ローカルアップデート) ... 114	SRS CS Autoの設定をする..... 126
ラジオを聞く.....93	SDメモリーカードに 音楽CDを録音する..... 106	パソコンでタイトル情報を個別に 更新する (カスタムアップデート) ... 115	DSPの設定をする..... 127
受信中の放送局をリストに 記憶させる (プリセットメモリー)93	録音に関する設定をする..... 106	スマートフォンでタイトル情報を 個別に更新する..... 116	車速連動音量を補正する..... 127
記憶させた放送局を選ぶ (プリセット選局).....93	録音する..... 106		より自然な音で聞く (ビット・周波数拡張)..... 127
FM/AMを切り換える.....93	音楽CDの録音について..... 107		Gracenoteをアップデートする..... 127
自転車位置に応じて放送局を 切り換える (エリアモード).....93			イコライザーの設定をする..... 128
周波数から選局する.....93			スピーカーの設定をする..... 129
			映像を調整する..... 130
			画質を調整する..... 130
			映像の画面表示サイズを切り換える..... 130
			現在地画面にオーディオ映像を 表示する..... 131

オーディオの基本操作

- 走行中は、TV、Blu-ray Disc、DVD、SD動画、USB動画、HDMI、VTR、Drive P@ss (動画など)の映像は表示されません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- 走行中でも、後席用のモニターには映像が出力されます。
後席用のモニターに出力される映像について→P.160

オーディオに切り換える

AUDIOを押す

- オーディオ画面に切り換わります。

オーディオの種類を選ぶ

オーディオメニューから

切り換えたいオーディオを選ぶ



- 選んだオーディオに切り換わります。

お知らせ

- オーディオの音量を調整するには→P.17

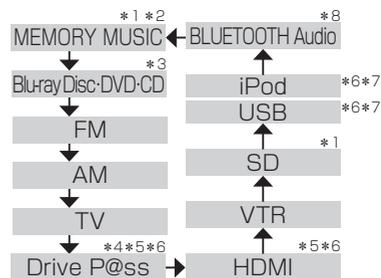
ステアリングスイッチで

準備

- ステアリングスイッチ設定をしてください。(P.23)

SOURCEを割り当てた
ステアリングスイッチを押す

- 押すごとにオーディオが切り換わります。



- オーディオOFF時はMEMORY MUSICに切り換わります。
- 交通情報時は、TVに切り換わります。
- ステアリングスイッチで交通情報に切り換えることはできません。

- * 1 SDメモリーカード挿入時
- * 2 本機で録音した音楽データの再生
- * 3 ディスク (CD・MP3/WMA・DVD・Blu-ray Disc) 挿入時
- * 4 本機とスマホ連携接続して、ケーブルで接続されたスマートフォンで、Drive P@ssが起動されている状態のとき (P.144～148)
ただし、上記の状態ではなくても、ビデオカメラなどの機器をHDMIで接続している場合は、Drive P@ssに切り換えるとHDMIの映像が表示されます。
- * 5 後席用モニターに出力できません。
- * 6 USBメモリー、iPod、Drive P@ss (スマホ連携) は、同時に接続できません。
また、HDMIとDrive P@ss (スマホ連携) も、同時に接続できません。
- * 7 USBメモリー、iPod接続時
- * 8 BLUETOOTH Audio 機器接続時

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に
MAPを押す

- オーディオ画面に戻るには、**AUDIO**を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。(右記)

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。(P.131)

オーディオをOFFにする

本体ボタンで

AUDIOを2秒以上押す

- オーディオをONにするには
オーディオOFFの状態
で、**AUDIO**を2秒以上押す

ツートップメニューから

AUDIO OFFを選ぶ

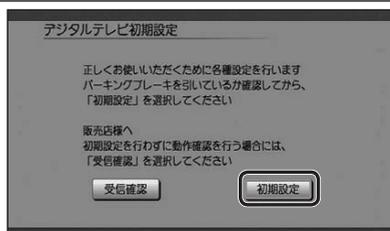


- オーディオの音声・映像が消去されます。(オーディオOFF)

- オーディオをONにするには
ツートップメニューから
AUDIO ONを選ぶ

テレビ初期設定を行う

初めてテレビに切り換えたときは、テレビ初期設定画面が表示されます。地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずテレビ初期設定をしてください。



1 初期設定を選ぶ

- 販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、「**受信確認**」を選んでください。
・受信確認中は、**◀▶**で物理チャンネルを変更できます。

郵便番号設定

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、「決定」を選ぶ

県域設定

3 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには

■ 伊豆、小笠原諸島地域

1 沖縄・その他の島部を選ぶ

2 東京都島部を選ぶ

■ 南西諸島鹿児島県地域

1 沖縄・その他の島部を選ぶ

2 鹿児島県島部を選ぶ

4 次へを選ぶ

ホームモードのチャンネル設定

5 地域を確認して、「決定」を選ぶ

- 受信可能なチャンネルの検索が完了すると、一覧表が表示されます。
- 地域によっては、検索に時間がかかる場合があります。(約5分)
- **◀▶**: 地域の変更

6 各チャンネルの放送局を確認して、「決定」を選ぶ

- 検索できない放送局があった場合は、初期設定終了後に再スキャンを行ってください。(P.92)チャンネル番号



▲▼でチャンネル番号を選び、**◀▶**で放送局を選び、手動でチャンネルを修正できます。

7 終了を選ぶ

- これで準備完了です。地上デジタル放送をご覧になれます。

テレビ初期設定を変更・再確認するには

テレビ初期設定画面(P.86)は、一度設定すると、出荷状態に戻す(P.177)またはTVの初期化(P.177)をするまで表示されません。引越して受信地域が変わったなどの理由で、テレビ初期設定の項目を変更したい場合は、下記から設定してください。

- 郵便番号設定.....P.92「郵便番号」
- 県域設定.....P.92「県域」
- ホームモードのチャンネル設定.....P.92「ホームチャンネル」

■ 周波数再編(リパック)について

周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、再スキャン(P.92)を行ってください。

■ 緊急警報放送(EWS)について

緊急警報放送(EWS)とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り換わります。



- テレビ以外のオーディオを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り換わる場合があります。
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)
もとに戻すには、手動で切り換えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。

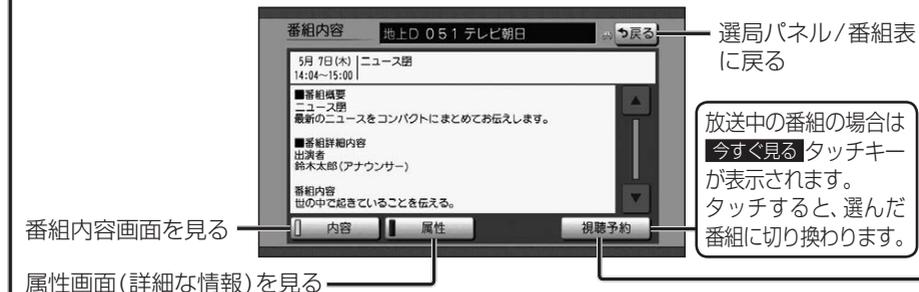
テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネル(下記)が表示されます。

- 約10秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。



番組内容を見る



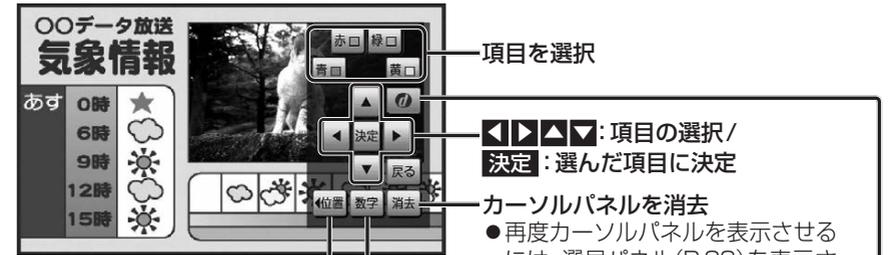
番組表を見る



- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかることがあります。)
- 地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。
- 番組表表示形式を設定できます。(P.92)

カーソルパネルの操作

選局パネル(P.88)から**操作**を選ぶと、カーソルパネル(下記)が表示されます。



データ放送を見る

カーソルパネル(上記)から**操作**を選ぶと、データ放送が表示されます。

- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 再度**操作**を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。

お知らせ

- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

画面キーボードが表示されたら

画面キーボードで文字を入力する



- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

順送りで見たい番組を見る

◀▶を押す

- 1チャンネルずつ切り換わります。

視聴予約をする

視聴予約したい番組の番組内容画面(P.88)を表示させ、**視聴予約**を選ぶ

- 選んだ番組の視聴予約がセットされます。
- 予約した時間になると、自動的にテレビに切り換わり、予約した番組が表示されます。
- 受信モードが自動切替になっていない場合、視聴予約した番組に切り換えられない場合があります。
- 同じ時間に開始する番組を複数予約することはできません。
- 放送開始時刻が変更になっても、予約時刻は自動では変更されません。
- 視聴予約した番組が終了しても、もとのオーディオ、チャンネルには戻りません。
- 緊急警報放送中は、視聴予約が実行されません。
- 予約した番組(チャンネル)が受信できない場合は、自動的に中継局や系列局をサーチして、受信できた局に切り換わります。
- 視聴予約を確認するには→P.90

テレビを見る

選局パネル(P.88)から
デジタルTVメニューを選ぶと、
 テレビメニューが表示されます。

テレビメニューの説明を表示

テレビメニュー



情報/設定画面



システム設定画面



(1/2)



(2/2)

テレビの受信や信号の設定をする

1 設定したい項目を選ぶ

2 設定する (P.91)

視聴予約を確認・編集する

視聴予約を選ぶ

●視聴予約一覧が表示されます。



視聴予約を取り消す

1 視聴予約一覧(上記)から
 取り消したい視聴予約にチェック(✓)する

2 **取消**を選ぶ

3 **はい**を選ぶ

●選んだ視聴予約が取り消されます。

ソフト情報を見る

1 **ソフト情報表示**を選ぶ

2 情報を確認する

デバイスID表示

通常は、この操作は必要ありません。

デバイスID表示を選ぶ

●受信機(本機)の情報が表示されます。



●お問い合わせの際に必要な場合があります。

[太字:お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
受信モード 受信状態が良くないときは、ワンセグに切り換えると、比較的安定した画像を見ることができます。	「 自動切換 」: 受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切換 ●番組のタイトル表示・チャンネル表示に AUTO と表示されます。 「 ワンセグ 」: 受信状態に関わらずワンセグを受信 「 地上D 」: 受信状態に関わらず地上デジタル放送を受信 ●受信状況によっては、切り換え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ●放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。
プリセットモード ホームモード/おでかけモードを切り換えます。	「 ホーム 」: ホームモードに切換 「 おでかけ 」: おでかけモードに切換 ■ ホームモード テレビ初期設定の「ホームモードのチャンネル設定」(P.86)で設定された、自宅周辺で受信できるチャンネルを選べます。 ●放送局を変更するときは、「ホームスキャン」を行ってください。(P.92) ●ホームモード設定中におでかけモードプリセット(下記)を行うと、ホームモードは解除され、おでかけモードに切り換わります。 ■ おでかけモード ホームモードの放送局が受信できない旅行先などでは、ホームモードとは別に、旅行先で受信できるチャンネルを登録できます。(下記「おでかけスキャン」) また、自車位置に応じて放送局のリストを自動的に切り換えることもできます。(下記「エリアプリセット」)
おでかけモードプリセット ■ おでかけスキャンについて ●放送局の系列は、ホームモード時のチャンネル設定に合わせます。 ●おでかけモードでは、チャンネルの修正はできません。 ●おでかけ初期スキャン/おでかけ再スキャンするとエリアプリセットは解除されます。	「 エリア 」: 自車位置に応じて放送局リストを自動的に切り換えます。(エリアプリセット) ●再度選ぶと解除されます。 「 初期スキャン 」: 現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。(おでかけ初期スキャン) ●スキャン完了後、放送局一覧が表示されます。(約10秒間) 「 再スキャン 」: 新たに受信できたチャンネルが追加されます。(おでかけ再スキャン) ●以前おでかけモードに登録されていたチャンネルは残ります。(削除・上書きなどはされません。) ●スキャン完了後、放送局一覧が表示されます。(約10秒間)
放送局一覧	放送局一覧 ●本機に設定された受信可能なチャンネルが一覧表示されます。 ●ワンセグは青色で表示されます。
信号切換	信号切換 各項目を設定する 「 マルチビュー 」: マルチビュー放送のときに選択できます。 ●マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。 「 映像 」: 映像が複数あるときに選択できます。 「 音声 」: 音声複数あるときに選択できます。 「 二重音声 」: 二重音声の音声を選択できます。 「 字幕 」: 字幕の言語を選択できます。 「 文字スーパー 」: 文字スーパーの言語を選択できます。 ●文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。

テレビを見る

テレビのシステム設定をする

1 システム設定画面 (P.90) から設定したい項目を選ぶ

2 設定する (下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作
オート放送局サーチ 移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り換えます。	<p>「する」: オート放送局サーチする 「しない」: オート放送局サーチしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り換えられない場合があります。そのときは、手動で選局してください。(P.88「テレビの基本操作」) ● 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り換えた際、異なる番組になる場合があります。
地上D選局対象*1 テレビサービスのみを選局するか、テレビサービスと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。	<p>「テレビ」: テレビサービスのみ選局する*2 「テレビ/データ」: テレビサービスと独立データサービスを選局する</p> <p>*1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。 *2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。</p>
番組表表示形式 番組表の表示のしかたを設定します。	<p>「第一内容のみ表示」: 同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。 <p>「全内容を表示」: 同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する</p>
地上D/ワンセグ切替 地上デジタル放送/ワンセグが切り換わる時のズレを、補正する/しないを設定します。	<p>「遅延補正あり」: 映像・音声のズレを補正する 「遅延補正なし」: 映像・音声のズレを補正しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受信モード (P.91) が「自動切替」のときに、設定が有効となります。 ● 地上デジタル放送を十分に受信してからでないと効果が表れない場合があります。
郵便番号	お住まいの地域の郵便番号を入力する 決定 を選ぶ
県域	P.86「テレビ初期設定を行う」手順3と同じ操作でお住まいの都道府県を選ぶ
ホームチャンネル	ホームモードで使用するチャンネルを設定する (ホームスキャン) 準備 ● ホームモードに切り換えてください。(P.91)
放送局を上書きしてチャンネルを記憶する (初期スキャン)	<p>初期スキャン を選ぶ 決定 を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。 ● チャンネルを修正するには →P.86手順6
引越しなどで受信地域が変わり、ホームモードを再設定するときに行ってください。	
放送局リストにチャンネルを追加する (再スキャン)	<p>再スキャン を選ぶ 決定 を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たに受信できたチャンネルが追加されます。 ● 以前ホームモードに登録されていたチャンネルは残ります。(削除・上書きなどはされません。) ● チャンネルを修正するには →P.86手順6
自宅付近に新しく開設された放送局や、自宅に隣接した地域で受信できる放送局を追加するときなどに行ってください。	
設定したチャンネルを修正する (マニュアル)	マニュアル を選ぶ チャンネルを修正する →P.86 手順6 決定 を選ぶ
バージョンアップ	テレビチューナーの内部ソフトウェアバージョンアップの際に使用します。

ラジオを聞く

[FM/AM] に切り換えるには
→P.84「オーディオの種類を選ぶ」

ラジオ画面



オーディオチューン (P.124~129)

受信中の放送局をリストに記憶させる (プリセットメモリー)

1 プリセットのリスト (P1/P2) を選ぶ

2 ◀▶ で周波数から選局する (右記)

3 保存したい枠を2秒以上タッチする

- 受信している放送局が選んだ枠に記憶されます。

記憶させた放送局を選ぶ (プリセット選局)

1 プリセットのリストから放送局を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。
- **P1/P2** を選ぶと、プリセットのリストが切り換わります。

2 放送局を選ぶ

- 選んだラジオ放送を受信します。

FM/AMを切り換える

FM/AM を選ぶ

お知らせ

- AMステレオには対応していません。

自車位置に応じて放送局を切り換える (エリアモード)

エリア を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。(12局まで)

自車位置周辺の放送局を更新するには

エリアモードでエリア更新 を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストに更新されます。

周波数から選局する

◀▶ を押す

- 1秒以上押して離すと選局を始め、受信すると止まります。(シーク選局)

お知らせ

- 本機は、ワイドFM (FM補完放送) に対応しています。
- 地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名が表示されたり、周波数のみが表示される場合があります。
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。

交通情報を聞く

[交通情報] に切り換えるには
→P.84「オーディオの種類を選ぶ」

交通情報画面



オーディオを交通情報に切り換えると、交通情報を聞くことができます。
[お買い上げ時の設定: 1620 kHz]

周波数を選ぶ

お知らせ

- オーディオを交通情報に切り換えると、ビット・周波数拡張の設定がONの場合、設定はOFFになります。他のオーディオを選ぶと、設定はONに戻ります。

ディスクを再生する

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。「ディスクについて」(P.193)も併せてご覧ください。

フォーマット ディスク	BDMV	BDAV	AVCHD*3	AVCREC*3	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3*4	WMA*4
Blu-ray	○	—	—	—	—	—	—	—	—
BD-R/RE	○	○	○	—	—	—	—	—	—
DVD	—	—	—	—	○	—	—	—	—
DVD-R/RW*1	—	—	○	○	○	○	—	—	—
CD	—	—	—	—	—	—	○	—	—
CD-R/RW*2	—	—	—	—	—	—	○	○	○
操作のしかた	P.96~99			P.100~102		P.103	P.104		

- *1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。
- *2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。
- *3 AVCHD、AVCREC形式のDVD-R/RWを本機に挿入すると、Blu-ray Discのアイコンが表示されます。
- *4 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

ディスクを挿入する

1 TILT を押す

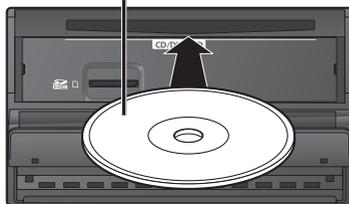
2 OPEN/EJECT 画面から OPEN を選ぶ



- ディスプレイが開きます。

3 ディスクを挿入する

ラベル面を上



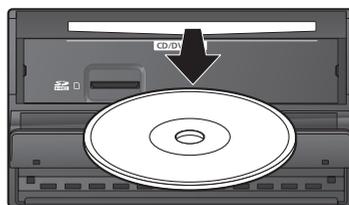
- ディスプレイが自動的に閉まり、再生を開始します。
- TILT を押して、手動でディスプレイを閉じることもできます。

ディスクを取り出す

1 OPEN/EJECT 画面(左記)から DISC EJECT を選ぶ

- ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出す



- TILT を押して、ディスプレイを閉じてください。

microSD メモリーカードの出し入れ

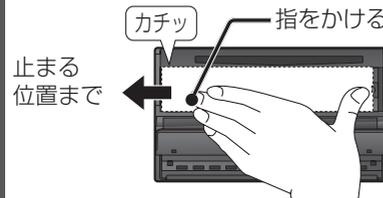
BDMVには、ローカルストレージにディスクの付加情報を保存して、再生時に利用することができるものがあります。

- 本機で使用できるmicroSDメモリーカードについては、(P.196)をご覧ください。
- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1 TILT を押し、OPEN を選ぶ

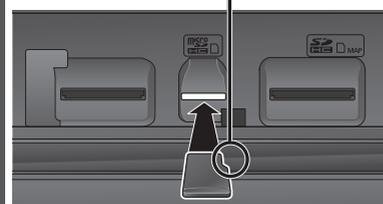
- ディスプレイが開きます。

2 パネルを左にスライドさせ、取り出す



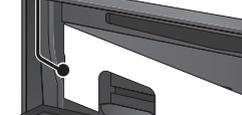
3 microSDHC メモリーカードを挿入する

角がカットされた側を右に



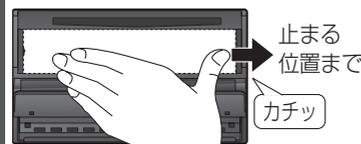
- カチッと音がするまで差し込む。

4 パネルを本体の左端に合わせ、はめ込む



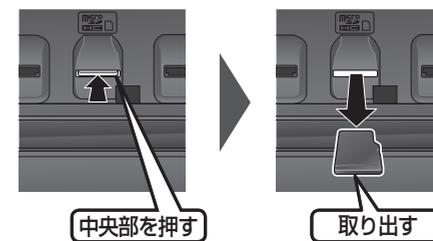
- パネル裏面の突起を、本体の孔にかみ合わせてください。

5 パネルを右にスライドさせる



- TILT を押して、ディスプレイを閉じてください。

取り出すには



お知らせ

- microSDメモリーカードを挿入したら、必ずパネルを取り付けてください。パネルが取り付けられていない状態では、ディスプレイが閉まりません。

BDMV・BD-DAV・AVCHD・AVCRECを再生する

- 本機で再生できるディスクについて
→P.94、193

ディスク再生画面(BDMV・BD-DAV・AVCHD・AVCREC)

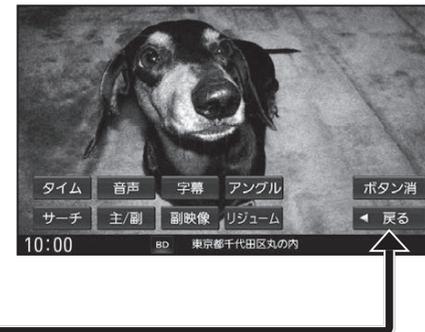


本編再生中に画面をタッチすると、再生操作タッチキーが表示されます。



各種切換 を選ぶと、各種切換タッチキーが表示されます。

- 操作のしかた→P.98



トップメニューを表示する

[BDMV] [AVCHD]

トップメニュー を選ぶ

ポップアップメニューを表示する

[BDMV]

ポップアップメニュー を選ぶ

タイトルリストを表示する

[BD-DAV] [AVCREC]

タイトル を選ぶ

プレイリストを表示する

[BD-DAV] [AVCREC]

プレイリスト を選ぶ

一時停止

再生中に **II** を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

停止

再生中に **II** を選ぶ



- **II** を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。(リジューム再生)

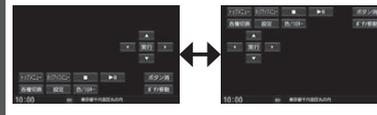
- **続き再生解除** : リジューム再生開始位置の情報を解除 (P.98)

- BD-Jはリジューム再生非対応です。

タッチキーの位置を切り換える

ボタン移動 を選ぶ

- タッチすることにより切り換わります。



ディスクによっては、メニューなどを直接タッチして操作できません。カーソル・カラーボタン・10キーで項目を選んでください。

カーソルで操作する

▲▼◀▶ でカーソルを移動し、**実行** を選ぶ



色や10キーで選ぶ

1 **色/10キー** を選ぶ

2 **カラーボタン/10キー** で項目を選ぶ



- **ボタン移動** : タッチキーを上下に移動
- **ボタン消** : タッチキー消去

早送り・早戻し

◀◀ ▶▶ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

一時停止中 (P.96) に

▶▶ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

チャプターの頭出し

◀◀ ▶▶ を押す

お知らせ

- ディスクによっては、パスワード入力をしていないと再生できないよう設定されているものがあります。パスワード確認入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。
- 2枚以上セットになっているBDMVは、1枚目を見終わってディスクを取り出したあと、次のディスクを挿入するよう指示する表示が出たままになる場合があります。
- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、**⊙**が表示されます。

ディスクを再生する

BDMV・BDAV・AVCHD・AVCRECを再生する(続き)

各種切替タッチキー (P.97)



タッチキーを消去

再生時間を表示する

タイム を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間 → タイトル/チャプター
← 表示なし →

音声を切り換える

音声 を選ぶ

- 選ぶごとに、音声が切り換わります。

主音声/副音声を切り換える

BDAV AVCREC

主/副 を選ぶ

- 選ぶごとに、主音声/副音声が切り換わります。

字幕の切替/消去

BDMV AVCHD

1 字幕 を選ぶ

2 字幕の切替

字幕切替 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕言語が切り換わります。

字幕の表示/消去

字幕ON/OFF を選ぶ

- 選ぶごとに、表示/消去が切り換わります。

BDMV

スタイル切替 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕スタイルが切り換わります。

アングルを切り換える

BDMV BDAV AVCREC

アングル を選ぶ

- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。

タイトル/チャプターを選ぶ

1 サーチ を選ぶ

2 番号を入力し、実行 を選ぶ

- 切替 : タイトル/チャプターを切り換える
- 修正 : 1文字消去

副映像を切り換える BDMV

1 副映像 を選ぶ

2 副映像を切り換える

映像切替 を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像が切り換わります。

副映像を消去する

映像ON/OFF を選ぶ

副映像用音声を切り換える

音声切替 を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像用音声が切り換わります。

副映像用音声を消去する

音声ON/OFF を選ぶ

トップメニューから元の再生に戻る (リジューム) BDMV*1 AVCHD

リジューム を選ぶ

* 1 BD-Jは非対応です。

BDMV・BDAV・AVCHD・AVCRECの設定を変える

1 再生操作タッチキー (P.96) から設定 を選ぶ

2 各項目を設定する(下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作	
BDMV、AVCHDの言語を設定する 言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り換えます。	設定したい項目の言語を選択 を選ぶ [お買い上げ時の設定: 日本語] ● オリジナル: ディスクで優先されている言語に切替 ● 初期値: ● OFF: 字幕表示しない	言語コードを入力し、決定 を選ぶ ● 言語コード一覧表 → P.201 ● クリア: 全文字削除 設定した言語がコンテンツに収録されていない場合や、コンテンツに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。
音声ダイナミックレンジで圧縮する*1 (ドルビーデジタル再生時のみ)	ダイナミックレンジ圧縮 を選ぶ	● [ON]: 圧縮する ● [OFF]: 圧縮しない
* 1 音声ダイナミックレンジについて ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。		
後席用モニター用HDMI出力の音声出力フォーマットの切替を行う	HDMI出力音声 を選ぶ	● 「ビットストリーム」: 音声ビットストリーム出力する*2 ● 「LPCM」: 音声をLPCM出力する * 2 接続先機器がビットストリームに対応していない場合は本機からの出力は自動的にLPCMになります。
副映像の音声とコンテンツの操作音を出力する	副映像用音声・操作音 を選ぶ	● [ON]: 出力する ● [OFF]: 出力しない
再生できるBlu-ray Discを制限する(レベル0~255) ● 制限したい年齢の下限を目安に設定してください。 ● レベル255は制限解除です。	視聴年齢制限 を選ぶ	視聴年齢制限を入力する パスワード(4桁)を入力し、決定 を選ぶ ● クリア: 全文字削除
● パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。		
パスワードを変更する ● パスワードは4桁の数字で設定してください。	パスワード変更 を選ぶ	「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード再入力」を入力し、決定 を選ぶ ● クリア: 全文字削除 ● お買い上げ時のパスワードは「0000」に設定されています。
ワイドサイズの映像を後席用モニターの画面サイズに合わせる	モニター設定 を選ぶ	● 「ワイド」(16:9) ● 「レターボックス」(4:3) ● 「パン&スキャン」(4:3) 通常は「ワイド」(16:9)に設定してください。
本設定は本機の表示にも反映されます。設定が適切でないと、映像が不自然に見える場合があります。		
microSDメモリーカードに保存されたBlu-ray Discのデータを削除する	BDデータ消去 を選ぶ	はい を選ぶ
本機に記録された履歴を削除する	BD履歴消去 を選ぶ	はい を選ぶ

お知らせ

- 言語設定、ダイナミックレンジ圧縮、パスワード変更、モニター設定、HDMI出力音声は、DVDでの設定と共通です。(P.102)

DVD-Video・DVD-VRを再生する

- 本機で再生できるディスクについて
→P.94、193

ディスク再生画面 (DVD)



本編再生中に[MENU]を押すと、
基本操作タッチキーが表示されます。
基本操作タッチキー画面 1



タッチキーを消去

基本操作タッチキー画面 2



設定を変える
(P.102)

タッチキーを
消去

タイトルメニューを表示する [DVD-Video]

■ **タイトル** を選ぶ

トップメニューを表示する [DVD-Video]

■ **メニュー** を選ぶ

タイトルリストを表示する [DVD-VR]

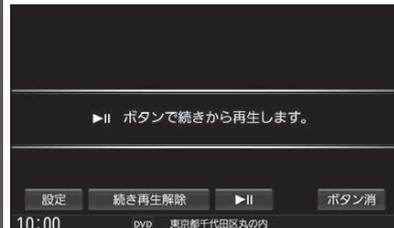
■ **タイトル** を選ぶ

プレイリストを表示する [DVD-VR]

■ **メニュー** を選ぶ

停止

再生中に **□** を選ぶ



● **▶** を選ぶと、再生を開始します。

- **続き再生解除**: リジューム再生開始位置の情報を解除 (右記)

一時停止

再生中に **▶** を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

音声を切り換える

■ **音声** を選ぶ

- 選ぶごとに、音声が切り換わります。

字幕の切り換え/消去

■ **字幕** を切り換える [DVD-Video]

■ **字幕** を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕が切り換わります。

■ **字幕** を消去する [DVD-VR]

■ **字幕** を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

アングルを切り換える [DVD-Video]

■ **アングル** を選ぶ

- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニュー
から元の再生に戻る (リジューム)
[DVD-Video]

■ **リジューム** を選ぶ

再生時間を表示する

■ **タイム** を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間→タイトル/チャプター
←表示なし←

メニューなどをカーソルで操作する

1 **操作** を選ぶ

2 **▲▼◀▶** でカーソルを移動し、
実行 を選ぶ



- **ボタン移動**: タッチキーを左右に移動
- **ボタン消**: タッチキー消去
- DVD-Videoは、トップメニュー/タイトルメニューの画面を直接タッチして操作できます。(ダイレクトタッチ)

1 つ前の画面に戻る

■ **リターン** を選ぶ

早送り・早戻し

■ **◀▶** を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

一時停止中 (P.100) に

■ **◀▶** を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- **◀▶**: [DVD-Video] のみ

チャプターの頭出し

■ **◀▶** を押す

項目を番号で選ぶ

1 **10キー** を選ぶ

2 **10キー** で番号を入力する



- **ボタン移動**: タッチキーを上下に移動
- **ボタン消**: タッチキー消去

タイトル/チャプターを番号で選ぶ
(サーチ)

1 **サーチ** を選ぶ

2 **切換** で、サーチの対象を選ぶ

- 選ぶごとに、タイトル/チャプターが切り換わります。

3 **番号** を入力し、**実行** を選ぶ

- 入力したタイトル/チャプターの先頭から再生を開始します。

項目を決定する

■ **エンター** を選ぶ

お知らせ

- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、⊗が表示されます。

DVD-Video・DVD-VRの初期設定を変える

1 基本操作タッチキー画面2 (P.101) から **設定** を選ぶ

2 各項目を設定する (下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作	
言語を設定する 言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り換えます。	言語設定 を選ぶ 設定したい項目の 言語を選択 を選ぶ [お買い上げ時の設定: 日本語] ● オリジナル : ディスクで優先されている言語に切替 ● 初期値 : すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す ● OFF : 字幕表示しない	言語コードを入力し、 決定 を選ぶ ● 言語コード一覧表→P.201 ● クリア : 全文字削除 設定した言語がDVDに収録されていない場合や、DVDに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。
音声ダイナミックレンジで圧縮する* (ドルビーデジタル再生時のみ)	ダイナミックレンジ圧縮 を選ぶ	● [ON]: 圧縮する ● [OFF]: 圧縮しない * 1 音声ダイナミックレンジについて ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音声が大量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。
ワイドサイズの映像を後席用モニターの画面サイズに合わせる 本設定は本機の表示にも反映されます。設定が適切でないと、映像が不自然に見える場合があります。	モニター設定 を選ぶ	● [ワイド] (16:9) ● [レターボックス] (4:3) ● [パン&スキャン] (4:3) 通常は「ワイド」(16:9) に設定してください。
後席用モニター用 HDMI 出力の音声出力フォーマットの切り換えを行う	HDMI出力音声 を選ぶ	● [ビットストリーム]: 音声ビットストリーム出力する*2 ● [LPCM]: 音声をLPCM出力する * 2 接続先機器がビットストリームに対応していない場合は本機からの出力は自動的にLPCMになります。
再生できるDVDを制限する 設定範囲: (強)1~8(弱)、制限なし ● 視聴制限が収録されていないDVDの場合は、本機で再生を制限することはできません。	視聴制限レベル を選ぶ	視聴制限レベルを選ぶ パスワード(4桁)を入力し、 決定 を選ぶ ● クリア : 全文字削除 ● 視聴制限を解除する場合は、 制限なし を選びます。 ● パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。
パスワードを変更する ● パスワードは4桁の数字で設定してください。	パスワード変更 を選ぶ	「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード再入力」を入力し、 決定 を選ぶ ● クリア : 全文字削除 ● お買い上げ時のパスワードは「0000」に設定されています。

お知らせ

- 言語設定、ダイナミックレンジ圧縮、モニター設定、パスワード変更、HDMI出力音声はBlu-ray Discでの設定と共通です。(P.99)

音楽CD (CD-DA) を再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**AUDIO** を押しください。

- 本機で再生できるディスクについて→P.94、193

ディスク再生画面 (CD-DA)



録音を開始する/停止する (P.106)

録音設定 (P.106)

再生モード切替 (リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生 (ランダム)

ランダムを選ぶ

- 全曲を順不同に再生します。

曲を探す (スキャン)

スキャンを選ぶ

- 全曲を約10秒ずつ再生します。

オーディオチューン (P.124~129)

表示内容を切り換える

🎵: 再生中の曲の情報 (上図) を表示

📄: 曲のリストを表示

- 曲を選ぶと、再生を開始します。



早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

音楽CDのタイトル表示について

本機内の音楽データベース*1(以降Gracenote®データベース)を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

- CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が優先的に表示されます。
- 本機のGracenoteデータベースに一致する情報がないときはタイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合があります。
- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

* 1 Gracenote音楽認識サービスのデータベースの抜粋

ディスクを再生する

- [CD]に切り換えるには→P.84「オーディオの種類を選ぶ」
- ディスクの出し入れ→P.94

MP3/WMAを再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**[AUDIO]**を押してください。

- 本機で再生できるディスクについて→P.94、193
- 再生順序やタイトル表示・データ作成時の留意点について→P.198

ディスク再生画面 (MP3/WMA)



オーディオチューン (P.124～129)

表示内容を切り換える

- **[再生中の曲の情報 (上図)]**を表示
- **[曲のリストを表示]**
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。



早送り・早戻し

- **[早送り] [早戻し]**を押す続ける
 - 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

- **[曲の頭出し]**を押す

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

再生モード切替 (リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
リピートトラック→リピートフォルダ

← 通常再生 →

順不同に再生 (ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す (スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

フォルダを選ぶ

フォルダ [フォルダ] / [フォルダ] を選ぶ

- 選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

BLUETOOTH Audioを再生する

- [BLUETOOTH Audio]に切り換えるには→P.84「オーディオの種類を選ぶ」

- 準備 ● BLUETOOTH対応機器を本機に登録してください。(P.134)

BLUETOOTH Audio再生画面



オーディオチューン (P.124～129)

表示内容を切り換える

- **[再生中の曲の情報 (上図)]**を表示
- **[選曲モード (右記)で選択された選曲方法で、曲のリストを表示]**
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。



早送り・早戻し

- **[早送り] [早戻し]**を押す続ける
 - 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

- **[曲の頭出し]**を押す

お知らせ

- タイトル、Artist、Albumの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。
- 接続機器や接続状態によって、下記のようなことが発生する場合があります。
 - ・音声出力や画面表示に時間がかかる。 ・音楽プレーヤーを起動する必要がある。
 - ・音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない。 ・画面表示が更新されない。
 - ・タイトル、Artist、Albumが表示されない。
 - ・ナビゲーションから操作できない。(その場合は、接続機器で操作してください)
- スマートフォンを接続し、複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前に全てのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。(例：iPhoneにて、ケーブル接続している場合)

選曲方法を選んで選曲する (選曲モード)

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲方法を選ぶ

- 選曲方法 (例:「アルバム」「ジャンル」などは、接続する機器によって異なります)。
- 「曲」を選んだ場合→手順4

3 リストからフォルダを選ぶ

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- 再生中画面: BLUETOOTH Audio 再生画面に戻る

再生モード切替 (リピート/ランダム)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生 (ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

一時停止

再生中に [一時停止] を選ぶ

- [一時停止] を選ぶと、再生を開始します。

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。

録音に関する設定をする

1 オーディオメニュー(P.24)から、**CD**を選ぶ

2 **録音設定**を選ぶ

3 録音に関する設定をする



4 **戻る**を選ぶ

■ 録音管理

- **自動録音**：録音していない曲を、自動的に全て録音[お買い上げ時の設定]
- **手動録音**：曲を選んで録音

■ 音質

◀/▶で音質を選ぶ

[お買い上げ時の設定：256 kbps]

● 録音曲数の目安*1

- ・320 kbps：約1 748曲
- ・256 kbps：約2 185曲
- ・192 kbps：約2 913曲
- ・128 kbps：約4 369曲
- ・96 kbps：約5 825曲

* 1 空き容量が16 GBのSDHCカードに、4分程度の曲を録音した場合。(ファイル管理上は、最大10 000曲/10 000アルバムまで保存できます。)

録音する

準備

- 音楽CDの録音に関する設定→P.106
- 本機で初期化したSDメモリーカードを挿入してください。(P.117、177)

1 音楽CDを挿入する(P.94)

2 録音設定が「自動録音」の場合

音楽CDの再生とともに、自動的に録音を開始します。



録音中に表示されます

録音設定が「手動録音」の場合

■ 全曲を録音する場合

1 **録音 ▶ 全曲録音**を選ぶ

2 **録音開始**を選ぶ

- 未録音の曲を全て録音します。

■ 選んだ曲を録音する場合

1 **録音 ▶ 選択曲録音**を選ぶ

2 **リストから曲を選び、決定**を選ぶ

- 選んだ項目には、チェックマーク(✓)が付きます。
なお、すでに録音済みの曲にはチェックマーク(✓)が付いていません。

3 **録音開始**を選ぶ

録音を停止するには

録音中画面から、**録音中止**を選ぶ

お願い

- SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正しく再生されない場合があります。

- 本機で録音した音楽データは、本機のみで再生可能な音楽データのため、本機以外の機器(パソコンなど)では再生できません。

音楽CDの録音について

- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音(P.106)を行ってください。
- 録音中にCD以外のオーディオ、Drive P@ssやAUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。その場合、本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。(4倍速～8倍速)
- CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
- アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。
- タイトル情報が付与されない(本機のGracenoteデータベースにない)場合は、タイトルを手動で編集(P.110)、パソコンの専用アプリ「Title Finder」を使用してインターネット経由で取得(P.115)、またはスマートフォン向けアプリDrive P@ss(P.116)の「Title Finder」を使用して取得できます。「Title Finder」については、下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/navi/>
- ディスクに保存されたMP3/WMAファイルは、録音できません。
- ノンストップCDを録音した場合、再生時に曲間で音が途切れます。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。
- dtsCDは録音できません。

お願い

- 録音中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

音楽CD録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
 - 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。次回車のACCをONにしたとき、停止したところから録音を再開します。
 - 録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。*1
 - ・頭出し
 - ・再生モード切替(リピート/ランダム/スキャン)
 - ・早送り/早戻し
 - ・タイトル情報検索のための音楽情報の出力と更新
 - ・録音設定
 - 連続複製防止システム(SCMS)の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。
- * 1 録音終了時点で再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード(リピート/ランダム/スキャン)の切替などの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する

[MEMORY MUSIC]に切り換えるには
→P.84「オーディオの種類を選ぶ」

準備 ●本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.106)

MEMORY MUSIC再生画面



オーディオチューン
(P.124～129)

表示内容を切り換える

- 再生中の曲の情報(上図)を表示
- アルバム/アーティスト/ジャンルのリストを表示
 - 表示されるリストは、選曲モードの設定によって異なります。
 - リストから項目をタッチして、曲を選ぶことができます。



- 曲のリストを表示
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。



お願い

- SD再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが読めなくなる、破損するおそれがあります。

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

- 選曲モード**を選ぶ
- 選曲する方法を選ぶ
 - 全曲
 - ジャンル
 - アルバム
 - お気に入り
 - アーティスト
- 曲のリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ
 - 名前順：50音順に並べ換え
 - 登録順：録音日の新しい順に並べ換え
- リストから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。
 - 再生中画面：MEMORY MUSIC 再生画面に戻る

再生モード切換(リピート/ランダム/スキャン)

- 再生モード**を選ぶ
- 再生モードを切り換える
 - 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
 - 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

- リピート**を選ぶ
 - 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

- ランダム**を選ぶ
 - 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

- スキャン**を選ぶ
 - 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

早送り・早戻し

- 早送り・早戻しボタンを押し続ける
 - 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

- 曲の頭出しボタンを押す

本機で録音した音楽データを編集する

お気に入りフォルダで管理する

お気に入りのアルバムや曲を、お気に入りフォルダにまとめておいて、選曲モードから呼び出すことができます。(P.108)

- お気に入りアルバム
 - 1フォルダあたり200アルバムまで
 - お買い上げ時のフォルダ名：お気に入りアルバム1～お気に入りアルバム4
- お気に入りトラック
 - 1フォルダあたり200曲まで
 - お買い上げ時のフォルダ名：お気に入りトラック1～お気に入りトラック4

再生中のアルバム・曲をお気に入りに登録する

- MEMORY MUSIC再生画面(P.108)から**登録**を選ぶ
- お気に入り**▶**はい**を選ぶ
- アルバム・曲を登録するお気に入りフォルダを選ぶ
 - 選んだお気に入りフォルダに、アルバム・曲が登録されます。

アルバム・曲を選んでお気に入りに登録する

- MEMORY MUSIC再生画面(P.108)から**編集**を選ぶ
- 曲管理▶**はい**を選ぶ
 - アルバムのリストが表示された曲管理画面に切り換わります。
- お気に入りに登録したいアルバム・曲を選び(P.110)、**お気に入り登録**を選ぶ
- 登録するお気に入りフォルダを選ぶ
 - 選んだお気に入りフォルダに、アルバム・曲が登録されます。

お気に入りフォルダを編集する

- MEMORY MUSIC再生画面(P.108)から**編集**を選ぶ
- お気に入り管理▶**はい**を選ぶ
- お気に入りを編集する

項目	操作		
お気に入りフォルダの名称を編集する ●全角32文字(半角64文字)まで	名称を変更したいお気に入りフォルダを選ぶ	フォルダ名編集 を選ぶ	名称を入力し、 決定 を選ぶ
お気に入りに登録したアルバム・曲を個別に削除する	削除したいアルバム・曲のあるお気に入りフォルダを選び、 フォルダ内表示 を選ぶ	削除したいアルバム・曲を選び、 削除 を選ぶ	はい を選ぶ
	フォルダ内のアルバム・曲をすべて削除する	すべてのアルバム・曲を削除したいお気に入りフォルダを選び、 削除 を選ぶ	はい を選ぶ

お知らせ

- お気に入りフォルダから削除されたアルバム・曲は、通常のアルバム・曲として残ります。(SDメモリーカード内のアルバム・曲は削除されません。)

本機で録音した音楽データを編集する

- タイトルが付与されていなかったり、誤ったタイトルが付与されているアルバムは、パソコンやスマートフォンを使用してGracenoteデータベースを更新すると、正しい情報が付与される場合があります。(P.114～116)
- それでも正しい情報が付与されない場合は、下記の手順から手動で編集することもできます。

お知らせ

- データベース再検索を行うと、手動で編集したタイトルは、録音時に自動で付与されたタイトルに戻ります。
- タイトル情報を編集しても、本機のGracenoteデータベースは更新されません。そのため、SDメモリーカードに録音したアルバム・曲情報は更新されますが、CD再生時は編集されていない情報が表示されます。
- 文字入力のしかた→P.192

編集するアルバム・曲を選ぶ

- 1 MEMORY MUSIC再生画面(P.108)から**編集**を選ぶ
- 2 編集メニューから、**曲管理 ▶ はい**を選ぶ
 - **現在のアルバム**：再生中のアルバムのアルバム編集画面を表示
 - **現在の曲**：再生中の曲の情報編集画面を表示

3 曲管理画面から編集したいアルバム・曲を選ぶ

● 曲管理画面(アルバム)



リストからアルバムを選ぶ。

● 曲管理画面(トラック)



リストから曲を選ぶ。

お知らせ

- 録音中は編集できません。

アルバムの情報を編集する

- 1 曲管理画面(アルバム)から編集したいアルバムを選び、**アルバム編集**を選ぶ



- 2 アルバム編集画面からアルバムの情報を編集する(右記)

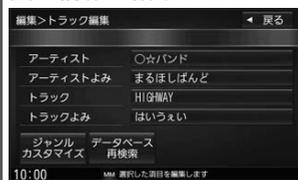


曲の情報を編集する

- 1 曲管理画面(トラック)から編集したい曲を選び、**トラック編集**を選ぶ



- 2 トラック編集画面から曲の情報を編集する(右記)



項目	操作		決定を選ぶ
アルバム名を編集する	アルバム名にタッチする	アルバム名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	決定を選ぶ
アルバムのよみを編集する	アルバムよみにタッチする	アルバムのよみを入力する ● 全角32文字まで	
アーティスト名を編集する	アーティストの アルバム内の曲をすべて編集 を選ぶ	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	決定を選ぶ
アーティストのよみを編集する	アーティストよみの アルバム内の曲をすべて編集 を選ぶ	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで	
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズ を選ぶ	ジャンルを選ぶ	
アルバムの情報を保存する(P.115)	アルバム情報保存 を選ぶ	● カスタムアップデート時、アルバムの情報がSDメモリーカード・USBメモリーに書き出されます。(P.115)	
アルバムの情報を更新する(P.114～115)	データベース再検索 を選ぶ	(複数の候補がある場合のみ) リストからアルバム名を選ぶ	

項目	操作		決定を選ぶ
アーティスト名を編集する	アーティスト名にタッチする	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	決定を選ぶ
アーティストのよみを編集する	アーティストのよみにタッチする	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで	
曲名を編集する	曲名にタッチする	曲名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	
曲のよみを編集する	曲のよみにタッチする	曲のよみを入力する ● 全角32文字まで	
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズ を選ぶ	ジャンルを選ぶ	
曲の情報を更新する(P.114～115)	データベース再検索 を選ぶ	(複数の候補がある場合のみ) リストから曲名を選ぶ	

本機で録音した音楽データを編集する

アルバムにジャケット写真を登録する

最大1 024 × 1 024ピクセルのJPEG形式の画像を登録できます。

- 1 曲管理画面 (P.110) から、ジャケット写真を登録するアルバムを選ぶ
- 2 **ジャケット写真** を選ぶ
- 3 ジャケット写真が保存されたメディア (**SDカード / USB**) を選び、**ジャケット写真を選択する** を選ぶ
- 4 フォルダを選ぶ
- 5 画像を選ぶ
 - 選んだ画像がアルバムのジャケット写真として登録されます。
 - すでにジャケット写真が登録されている場合は、**はい** を選んでジャケット写真を変更してください。



アルバム・曲を再生する/しないを設定する

- 1 曲管理画面 (P.110) から **再生選択** を選ぶ
- 2 再生しないアルバム・曲を選んでチェック (✓) を外し、**決定** を選ぶ
 - チェックを外したアルバム・曲が再生されなくなります。
 - チェックを入れると、再度再生されるようになります。
 - **全選択** : すべてのアルバム・曲にチェックを入れる
 - **全解除** : すべてのアルバム・曲のチェックを外す

再生中のアルバム・曲にジャンルを登録する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.108) から **登録** を選ぶ
- 2 **ジャンル** ▶ **はい** を選ぶ
- 3 再生中のアルバムを設定する場合 **アルバム単位** を選ぶ
再生中の曲を設定する場合 **トラック単位** を選ぶ
- 4 ジャンルを選ぶ

アルバム・曲を削除する

- 1 曲管理画面から削除するアルバム・曲を選ぶ (P.110)
- 2 **削除** を選ぶ
- 3 **はい** を選ぶ
 - 選んだアルバム・曲が削除されます。

SDメモリーカード内の録音状況を確認する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.108) から **情報** を選ぶ
- 2 **SDカード情報** ▶ **はい** を選ぶ
 - SDメモリーカードの使用済み割合・空き容量・録音可能時間・設定中の録音音質が表示されます。

録音した音楽データを初期化する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.108) から **情報** を選ぶ
- 2 **録音データ初期化** ▶ **はい** を選ぶ
- 3 **はい** を選ぶ
 - 録音した音楽データがすべて削除されます。

本機で録音した音楽データを編集する

パソコンでGracenoteデータベースを更新する(ローカルアップデート)

WEBサイトから更新データをダウンロードして、本機のGracenoteデータベースを更新できます。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 <http://panasonic.jp/navi/>

お知らせ

- Gracenoteデータベースはパブリックなデータベースですので、データベースの内容を100%保証するものではありません。

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンに挿入する

2 WEBサイトから、Gracenoteデータベースの更新データをダウンロードして、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存する

3 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する



4 Gracenoteデータベースを更新する

- ① オーディオチューン画面 (P.124) から **gracenote** を選ぶ
- ② **ローカルアップデート(定期更新)** を選ぶ
- ③ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、**はい** を選ぶ
- ④ 更新データを保存したメディア (**SDカード/USB**) を選び、**更新開始** を選ぶ
 - **更新履歴**: ローカルアップデートの更新履歴を表示
- ⑤ **はい** を選ぶ
 - 本機のGracenoteデータベースが更新されます。

5 タイトル情報を更新する

- ① 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から **データベース再検索** を選ぶ (P.111)
 - 取得したタイトル情報に更新されます。

パソコンでタイトル情報を個別に更新する(カスタムアップデート)

新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準備(初回のみ)

- 専用アプリ「Title Finder」をWEBサイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 <http://panasonic.jp/navi/>

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーにアルバム情報を書き出す

- ① 情報を取得したいアルバムのアルバム編集画面 (P.110) から、**アルバム情報保存** を選ぶ
 - 複数ある場合は、この手順を繰り返し、アルバム情報を保存してください。
- ② オーディオチューン画面 (P.124) から **gracenote** を選ぶ
- ③ **カスタムアップデート(個別更新)** を選ぶ
- ④ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、**はい** を選ぶ
- ⑤ アルバム情報を書き出すメディア (**SDカード/USB**) を選び **書き出し** を選ぶ
- ⑥ **はい** を選ぶ
 - アルバム情報ファイル「export.dat」が、SDメモリーカードの「NVDATA」フォルダに出力されます。
 - 手順①で保存されたアルバム情報が、すべて書き出されます。

2 SDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機から取り出し、パソコンに挿入する

3 Title Finderを起動しGracenote音楽認識サービスからタイトル情報をダウンロードして、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存する



4 タイトル情報取得が完了したら、SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する

5 タイトル情報を更新する

- ① オーディオチューン画面 (P.124) から **gracenote** を選ぶ
- ② **カスタムアップデート(個別更新)** を選ぶ
- ③ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、**はい** を選ぶ
- ④ タイトル情報を取り込むメディア (**SDカード/USB**) を選び **取り込み** を選ぶ
- ⑤ **はい** を選ぶ
 - タイトル情報が取り込まれます。
- ⑥ 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から **データベース再検索** を選ぶ (P.111)
 - 取得したタイトル情報に更新されます。

本機で録音した音楽データを編集する

スマートフォンでタイトル情報を個別に更新する

スマートフォンの通信機能を利用して、新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準備(初回のみ)

- 「Drive P@ss」(P.144)をスマートフォンにインストールしてください。
- 詳しくは、アプリ内の操作ガイド、または下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/navi/>

1 スマートフォンを本機に機器登録し、スマホ連携接続する (P.145)

2 Drive P@ssに切り換える (P.148)

3 アプリ選択画面から「Title Finder」を選ぶ

4 検索するを選ぶ

- 本機からスマートフォンへタイトル情報を出力し、Gracenoteサーバーにアクセスして、タイトル情報を取得します。
- タイトル情報を取得すると、タイトルリストが表示されます。

5 タイトルリストから「設定する」を選ぶ

- タイトル情報が更新されます。

タイトル情報に複数の候補がある場合は

タイトル情報に複数の候補がある場合は、「複数候補あり」と表示されます。候補から、正しいタイトル情報を選んでください。

1 リストから「複数候補あり」と表示されたタイトルを選ぶ

- 候補のリストが表示されます。

2 リストからタイトルを選び、「確定する」を選ぶ

- 選んだタイトルがタイトルリストに反映されます。
- 「複数候補あり」と表示されたタイトルがほかにもある場合は、再度手順1～2を行ってください。

3 設定するを選ぶ

- タイトル情報が更新されます。

6 終了するを選ぶ

- Title Finderを終了します。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

- 本機では、SDメモリーカード・USBメモリーを使用して、PCなどで保存した音楽(MP3/WMA/AAC)、静止画(JPEG)、動画(MPEG4)のデータを再生できます。
- データ作成時の留意点については、P.198～197をご覧ください。

SDメモリーカードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1 [TILT]を押す

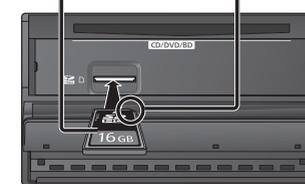
2 OPEN/EJECT画面 (P.94) からOPENを選ぶ

- ディスプレイが開きます。

3 SDメモリーカードを奥までまっすぐに挿入する

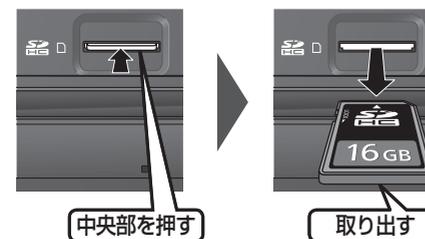
- カチッと音がするまで差し込みます。
- 自動的にディスプレイが閉まります。
- ディスプレイが閉まらない場合は、SDメモリーカードが奥までしっかり入っているか確認してください。

ラベル面を上にして、角がカットされた側を右に



SDメモリーカードを取り出す

上記手順3の状態、SDメモリーカードを取り出す

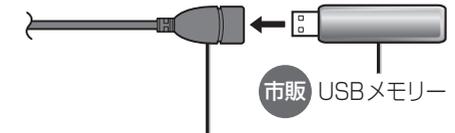


- [TILT]を押して、ディスプレイを閉じてください。

お願い

- 再生中にSDメモリーカード・USBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

USBメモリーを本機と接続する



別売 iPod/USB接続用中継ケーブル (CA-LUB200D)

お願い

- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- USBメモリーおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- USBメモリーを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- 正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。

お知らせ

- USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 使用するUSBメモリーやケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。

音楽 (MP3/WMA/AAC) を再生する

準備

- 音楽が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、音楽が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.117)

音楽再生画面 (例: SD)



オーディオチューン
(P.124~129)

表示内容を切り換える

- : 再生中の曲の情報 (上図) を表示
- : フォルダのリストを表示
 - フォルダを選ぶと、選んだフォルダの1曲目から再生を開始します。



- : 再生中フォルダの曲のリストを表示
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。



早送り・早戻し

を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

を押す

選曲方法を選んで選曲する (選曲モード)

- 1 **選曲モード** を選ぶ
- 2 選曲する方法を選ぶ
 - **全曲**: 全フォルダの全曲から選ぶ
 - **フォルダ**: 選んだフォルダから選ぶ
- 3 (「フォルダ」の場合のみ)
リストからフォルダを選ぶ
- 4 リストから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。
 - 再生中画面: 音楽再生画面に戻る

再生モード切替 (リピート/ランダム/スキャン)

- 1 **再生モード** を選ぶ
- 2 再生モードを切り換える
 - 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
 - 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピート

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生 (ランダム)

ランダム

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す (スキャン)

スキャン

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒再生します。

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

- 1 **モード切換** を選ぶ
- 2 **音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイル** を選ぶ

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Genre、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

静止画を再生する

準備

- 画像が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、画像が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.117)

画像操作画面 (例: SD)



画像を全画面で表示する

画像再生画面をタッチする

- 全画面で表示します。
- もう一度画面をタッチすると、画像操作画面が表示されます。
- 画像操作画面で約10秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

次/前の画像に切り換える

全画面表示中に、左右にフリックする

- 次/前の画像に切り換わります。
- を押しても切り換わります。

画像をスライドショーで再生する

スライドショー

- 画像をスライドショーで表示します。

スライドショーを停止するには

スライドショーの画面をタッチする

- **再生間隔**: 再生間隔を設定
3秒[お買い上げ時の設定]/10秒/30秒/1分
- **開始**: スライドショーを開始
- **終了**: スライドショーを終了

画像を回転させる

回転

- 画像を右方向に90度回転します。

リストから選ぶ

1 リスト

2 フォルダ

- サムネイル画面が表示されます。

3 サムネイルから画像を選ぶ



音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイル

- 選ぶ

動画を再生する

準備

- 動画が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、動画が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.117)

再生画面にタッチすると、
動画操作画面が表示されます。

動画操作画面(例:SD)



動画を全画面で表示する

動画操作画面をタッチする

- 全画面で表示します。
- もう一度画面をタッチすると、動画操作画面が表示されます。
- 動画操作画面で約10秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

早送り・早戻し

⏪ ⏩ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

動画の頭出し

⏪ ⏩ を押す

一時停止

⏸ を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を再開します。

リストから選ぶ

1 再生リストを選ぶ

2 リストからファイルを選ぶ

- 選んだ動画を再生します。

再生中のフォルダ以外から選ぶには

1 再生リストを選ぶ

2 リスト変更を選ぶ

3 選択する方法を選ぶ

- 全ファイル: 全フォルダの全ファイルから選ぶ
- フォルダ: 選んだフォルダから選ぶ

4 (「フォルダ」の場合のみ)
リストからフォルダを選ぶ

5 リストからファイルを選ぶ

- 選んだ動画を再生します。
- 再生中画面: 動画再生画面に戻る

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイル
を選ぶ

適合機種(2016年6月現在 接続確認済み)

Made for		
iPhone 6s Plus	iPhone 3GS	iPod nano 第7世代
iPhone 6s	iPhone 3G	iPod nano 第6世代
iPhone 6 Plus	iPod touch 第6世代	iPod nano 第5世代
iPhone 6	iPod touch 第5世代	iPod nano 第4世代
iPhone 5s	iPod touch 第4世代	iPod nano 第3世代
iPhone 5c	iPod touch 第3世代	iPod nano 第2世代
iPhone 5	iPod touch 第2世代	iPod nano 第1世代
iPhone 4s	iPod touch 第1世代	
iPhone 4	iPod classic	

最新の適合機種および接続情報については、下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/navi/>

※本書では特にことわりのない限り、上記のiPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。

お願い

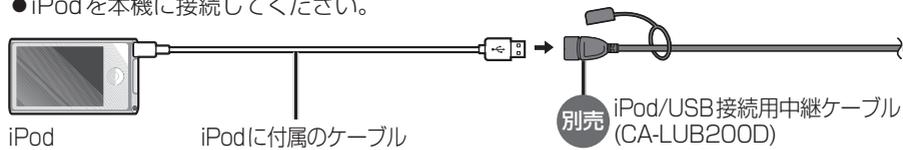
- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクタは確実に差し込んでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- iPodおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- iPodの説明書もよくお読みください。

お知らせ

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- 使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneをP.122のとおり接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneで「ここいこ♪」、「CarAV remote」、「音声認識」を利用することはできません。
- ケーブルで接続するiPhoneをBLUETOOTH Audio機器としても登録している場合は、iPhoneを操作して音声出力先を「Dockコネクタ」に設定してください。機種やOSのバージョンによっては、音声出力先の設定を切り換えられない場合があります。
- iPodビデオ再生には対応していません。

準備

- iPodを本機に接続してください。



必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル(CA-LUB200D)で接続してください。他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。

アルバムアートワーク

表示サイズは、iPodの仕様により異なります。

- 下記の場合は表示されません。
 - ・アルバムアートワークがない
 - ・アルバムアートワーク取得中
 - ・本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している



iPod再生画面



オーディオチューン
(P.124～129)

表示内容を切り換える

- ☰: 曲のリストを表示
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。
- 🎧: 再生中の曲の情報を表示
 - 表示されるリストは、選曲モードの設定によって異なります。
 - リストから項目をタッチして、曲を選ぶことができます。



一時停止

⏸️を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

再生モード切替(リピート/シャッフル)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

🔁を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(シャッフル)

🎲を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
シャッフルトラック*1 → シャッフルアルバム
← 通常再生 ←

* 1リストの内容は、選曲方法(P.123)によって異なります。

早送り・早戻し

⏮️ ⏭️を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮️ ⏭️を押す

選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

iPod再生画面



1 選曲モードを選ぶ

2 選曲する方法を選ぶ

- 全曲
- アルバム
- アーティスト
- ポッドキャスト
- ジャンル
- プレイリスト
- 作曲家

3 トラック/エピソードのリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ

- **すべて**: 表示している全項目の下の階層を表示

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- **再生中画面**: iPod再生画面に戻る

ジャンル・アーティスト・アルバムのリストは、iPod再生画面からかんたんに表示させることができます。

🎧: ジャンルのリストを表示

🎤: アーティストのリストを表示

🎧: アルバムのリストを表示

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

オーディオチューンのモードを選ぶ

用途に応じて、オーディオチューンのモードを選んでください。

1 情報・設定メニュー(P.25)からオーディオチューンを選ぶ

- FM/AM、CD、BLUETOOTH Audio、MEMORY MUSIC、SD(音楽)、USB(音楽)、iPod(ミュージック)から「Sound」を選んでも、オーディオチューン画面を表示します。

2 オーディオチューン画面から、モードを選ぶ



● 高音質モード

高音質でオーディオを楽しむのに適したモードです。音声はLPCMで記録されたBlu-ray Discは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。(ビット・周波数拡張→P.127)

● エフェクトモード

様々な音響効果を楽しむのに適したモードです。Blu-ray Discの高音質の音源なども、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

お知らせ

- オーディオチューンの設定は、高音質モード・エフェクトモードでそれぞれ別に記憶されます。

FADE/BALANCEの出力レベルを調整する

1 オーディオチューン画面(左記)からFADE/BALANCEの状態表示部をタッチする



2 ▲▼◀▶で調整する



- 車室内のイメージを直接タッチして調整することもできます。
- センターを選べると、値が0になります。

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。

音響効果「音の匠」を設定する

音の匠とは

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しめます。

- 「匠 TAKUMI マスターサウンド」[お買い上げ時の設定]:
レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。(2 wayスピーカー向き)
- 「極 KIWAMI 高域強調」:
音楽性を重視して高域補正した、メリハリのある感じで音楽を楽しめるモード(フルレンジスピーカー向き)
- 「和 NAGOMI 会話重視」:
人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

高音質モードの場合

1 オーディオチューン画面(P.124)から◀▶で「音の匠」を選ぶ



- 「OFF」を選ぶと、設定が解除されます。

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



エフェクトモードの場合

1 オーディオチューン画面(P.124)から◀▶で「音の匠」を選ぶ



- 選ぶたびに、音響効果が切り換わります。
音の匠↔SRS CS Auto↔DSP↔OFF

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



お知らせ

- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

SRS CS Autoの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

SRS CS Auto™とは

Circle Surroundデコーダーによる車載用に特化したサラウンドシステムです。また、センタースピーカーやサブウーファーを使用せずに、5.1 chに相当する音場を再現できます。

1 オーディオチューン画面(P.124)から ◀▶で「SRS CS Auto」を選ぶ



- 選ぶたびに、音響効果が切り替わります。音の匠↔SRS CS Auto↔DSP↔OFF

2 詳細設定を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

● FOCUS

感覚的に耳の高さから音が聞こえるように設定できます。

● TruBass

低音の強さを設定できます。サブウーファー使用時は重低音を楽しめます。

● MixToRear

フロントチャンネルにセリフとBGM、リアチャンネルに効果音などが収録されているDVDなどは、後席ではセリフが聞き取りにくい場合があります。Mix To Rearを設定すると、リアスピーカーにフロントチャンネルの成分(セリフなど)もあわせて出力されるので、サラウンドの臨場感を保ったまま、後席でもセリフなどを聞きやすくできます。

お知らせ

- AUDIO OFFや、高音質モードの状態では設定できません。
- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。
- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。
- SRS CS Auto設定時にスピーカー設定を調整しても、効果がありません。

4 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

● FOCUS: 調整範囲: 0~4~8



● TruBass: 調整範囲: 0~4~8



● MixToRear: 調整範囲: 0~4~8



DSPの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

1 オーディオチューン画面(P.124)から ◀▶で「DSP」を選ぶ



- 選ぶたびに、音響効果が切り替わります。音の匠↔SRS CS Auto↔DSP↔OFF

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



- H A L L : コンサートホール風の音場
- STADIUM : スタジアム風の音場
- CHURCH : 教会風の音場
- L I V E : ライブハウス風の音場

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。

車速連動音量を補正する

車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

オーディオチューン画面(P.124)から 車速連動VOL補正の程度を選ぶ



- HIGH (補正大) MID (補正中) LOW (補正小) OFF (補正なし)

より自然な音で聞く (ビット・周波数拡張)

高音質モードでのみ設定できます

音源を補完して、より自然な音で再生します。

オーディオチューン画面(P.124)から ビット・周波数拡張 ONを選ぶ



- ビット・周波数拡張がONになります。
- OFFを選ぶと、設定が解除されます。

お知らせ

- 音源によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源のBlu-ray Discを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

Gracenoteをアップデートする

1 オーディオチューン画面(P.124)から gracenoteを選ぶ



2 Gracenoteをアップデートする

■ 定期更新 → P.114

■ ローカルアップデート(定期更新)を選ぶ

■ 個別更新 → P.115

■ カスタムアップデート(個別更新)を選ぶ

■ データベースの初期化

初期化 ▶ はい ▶ はいを選ぶ

- ローカルアップデート・カスタムアップデートの内容がすべて削除されます。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

イコライザーの設定をする

イコライザープリセットを切り換える

あらかじめ設定されている内容呼び出し、かんたんにイコライザーを調整できます。

オーディオチューン画面(P.124)から呼び出したいイコライザーを選ぶ



- **VOCAL**: 中音域から高音域にかけて強調した音質
- **ROCK**: 中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
- **JAZZ**: 中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
- **USER**: お好みで調整した音質(右記)
- **OFF**: ±0のフラットな音質

イコライザーを詳細に設定する

イコライザーを、お好みの数値に設定することができます。

1 オーディオチューン画面(P.124)からイコライザーの**詳細**を選ぶ

2 **USER**を選び、各周波数の値を▲▼で設定する



- **初期化**: 選んだイコライザーの設定をお買い上げ時の状態に戻す。
- **VOCAL/ROCK/JAZZ**を選ぶと、選んだ項目の詳細設定ができます。(OFFは詳細設定できません)

3 **登録**を選ぶ



スピーカーの設定をする

[太字:お買い上げ時の設定]

スピーカー出力レベルの調整をする

1 オーディオをFMまたはAMに切り換える

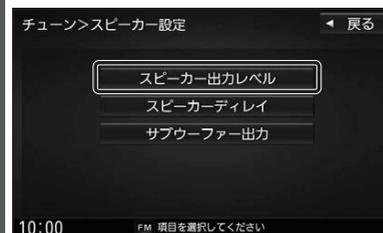
2 放送局が無い周波数に合わせる

- ラジオの「ザー」という音が聞こえることを確認してください。

3 オーディオチューン画面(P.124)から**スピーカー設定**を選ぶ



4 **スピーカー設定**画面から**スピーカー出力レベル**を選ぶ



5 ◀▶で各スピーカーの出力レベルを調整する

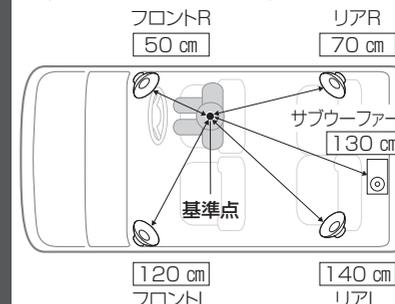
- 調整範囲: -12 dB ~ ±0 dB ~ +12 dB
- ラジオの「ザー」という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。

スピーカーディレイを設定する

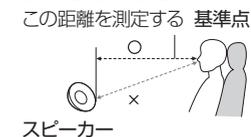
1 **スピーカー設定**画面(左記)から**スピーカーディレイ**を選ぶ

2 ◀▶で各スピーカーの距離を調整する

- 調整範囲: 0 cm ~ 100 cm ~ 500 cm (2 cm刻み)
- 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。(10 cmあたり約0.3 ms)



- 視聴位置を基準点としてください。
- 距離は、水平に計測してください。



サブウーファーを設定する

1 **スピーカー設定**画面(左記)から**サブウーファー出力**を選ぶ

2 ◀▶で周波数を調整する

- 調整範囲: 60 Hz ~ 120 Hz ~ 200 Hz
- サブウーファー側に同様の設定がある場合は、サブウーファー側の設定を最大(最も高い周波数)に設定してください。

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。

映像を調整する

画質を調整する

1 画質調整画面または画面調整画面が表示されるまで、**[MAP]**を2秒以上押す

- カメラ画質を調整する場合は、カメラスケール表示の調整画面を表示させてください。(P.170)
- オプションカメラの画質を調整する場合は、設置位置確認画面を表示させてください。(P.161)

2 **[TV]** **[Blu-ray Disc]** **[DVD]** **[SD(動画)]** **[USB(動画)]** **[VTR]** **[HDMI]** の場合のみ

画面調整画面から**画質調整**を選ぶ



3 画質調整画面から画質を調整する



お買い上げ時の設定に戻すには

初期値を選ぶ

- 明るさ ●▶: 明るくなる
●◀: 暗くなる
- コントラスト ●▶: 明暗の差が大きくなる
●◀: 明暗の差が小さくなる
- 色の濃さ*1 ●▶: 濃くなる
●◀: 薄くなる
- 色合い*1 ●▶: 緑みが強くなる
●◀: 赤みが強くなる

ダイナミックガンマ*1

- ONにすると、本機が自動的に色彩やコントラストを調整します。
- 選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。

映像の画面表示サイズを切り換える

画面調整画面(上記)から画面表示サイズを選ぶ

[お買い上げ時の設定:フル]

- ワイド** 16:9(横:縦)の画面(左右が少し黒くなる)
●4:3の映像は、横方向に引き伸ばされます。
- フル** 映像が画面全体になるように横方向に伸ばした画面
(どの位置も伸ばす比率は同じ)
- シネマ** ノーマル画面の比率のまま、左右に合わせて拡大した画面
(上下が少しカットされる)
●**[Blu-ray Disc]** **[DVD]** のみ
- ノーマル** 4:3(横:縦)の画面(左右が黒くなる)
●16:9の映像は、横方向に圧縮されます。

*1 ナビゲーション画面では調整・設定できません。

現在地画面にオーディオ映像を表示する

現在地画面に、**[TV]** **[Blu-ray Disc]** **[DVD]** **[SD(動画)]** **[USB(動画)]** **[VTR]** **[HDMI]** **[Drive P@ss]** の映像を表示できます。

1 現在地画面で**LAUNCHER**を選ぶ

2 ランチャーメニューから**右画面表示**を選ぶ

3 右画面表示設定画面から**デュアルウィンドウ**▶**OK**を選ぶ

- 現在地画面にオーディオ映像が表示されます。



- 右画面(オーディオ画面)をタッチすると、オーディオが全画面表示されます。

お知らせ

- ナビ設定からも、デュアルウィンドウの設定ができます。(P.173)

デュアルウィンドウを解除するには

1 現在地画面で**LAUNCHER**を選ぶ

2 ランチャーメニューから**右画面表示**を選ぶ

3 右画面表示設定画面から**OFF**▶**OK**を選ぶ

- デュアルウィンドウが解除されます。

お知らせ

- 走行中は、オーディオ映像は非表示になります。地図上にオーディオ映像を表示させるときは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- 拡大図(P.34)表示中や地図モード画面(P.38)、渋滞・規制情報の割り込み表示中(P.78、79)は、オーディオ映像は表示されません。
- 現在地画面のオーディオ映像は、表示位置の変更ができません。